

2011 年 5 月 26 日

機関リポジトリを知る

東京歯科大学図書館 阿部 潤也

1. 機関リポジトリ概論

学術情報の電子化からオープンアクセス活動、機関リポジトリへの流れとともに世界、日本の機関リポジトリの現状と今後の方向性について述べる。

- ・ 学術情報の電子化
- ・ オープンアクセス
- ・ 機関リポジトリとは？
- ・ 機関リポジトリのメリットとは？
- ・ 世界、日本のリポジトリ
- ・ 特徴的なサイト
- ・ DRF の活動
- ・ 今後の方向性

2. システムについて

機関リポジトリ構築に必要なシステムと構築方法、現在採用されている主なシステムを紹介する。

- ・ 必要な機能
- ・ 構築方法
- ・ 主なシステム

3. メタデータについて

機関リポジトリにおけるメタデータの役割と、その使われ方について述べる。

- ・ OAI-PMH
- ・ 内部メタデータ
- ・ 外部メタデータ
- ・ データプロバイダ

4. 著作権について

機関リポジトリにまつわる著作権と著者版原稿、著作権確認サイトを紹介する。

- ・ リポジトリでの著作権

- ・ 一般的な例
- ・ 著者版とは
- ・ 著作権確認サイト
- ・ その他の著作権

5. コンテンツ収集について

機関リポジトリに登録するためのコンテンツ収集の方法とその取り組みについて紹介する。

- ・ 種別
- ・ データベースから
- ・ 利用統計から
- ・ 話題から
- ・ アピール

6. 事例紹介

演者が運営に携わっている機関リポジトリの現状について紹介する。

- ・ これまでの経緯
- ・ IRURCAA@TDC について
- ・ 特徴的な取り組み
- ・ 利用について
- ・ 今後の課題